

令和9年度 有害鳥獣対策に係る補助事業 希望者募集

図 農林振興課 林務耕地係 ☎0968・34・3111

町では、令和9年度に実施する有害鳥獣対策に係る国・県の補助事業の要望調査を行います。
事業の申請を希望される人は、11月20日迄までに、農林振興課までご連絡ください。

①えづけSTOP！鳥獣被害対策事業（県事業）

「えづけSTOP！」とは、農作物に被害を与えるイノシシなどの野生動物に無意識のうちにやってしまっている集落や田畑の「えづけ（餌付け）」を「やめる（STOP）」という取り組みです。誤った順序で取り組みを進めると、将来的に効果維持が難しくなる場合があるため、以下のステップで取り組みます。

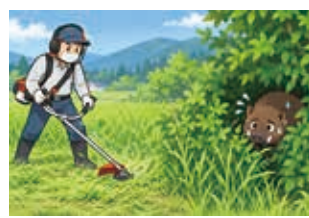
ステップ① みんなで勉強

正しい知識に基づく対応や共通の問題意識を持つため鳥獣や被害対策について学習し共有しましょう。



ステップ② 守れる田畑・集落づくり

鳥獣が近寄りにくく住みにくい集落・地域にするため、現在の集落・地域の現状を見直しましょう。



ステップ③ 囲いや追い払い

集落・地域を野生鳥獣のエサ場にしないために進入防護柵を設置し、野生鳥獣が怖い場所と思うよう、追い払い活動を地域ぐるみで取り組みましょう。



ステップ④ 有害鳥獣の捕獲

囲いや追い払いでも被害が減らない場合、集落近辺に住みつき、被害を与えているイノシシなどの捕獲を行います。



上記の事業に取り組む際、県から活動経費の補助の支援があります。

▶申請要件：集落や地域、組合などの団体であること

▶補助対象：鳥獣被害対策に係る研修会や勉強会の開催経費、草刈りなど潜み場の除去費用、侵入防護柵などの資材費、捕獲用具の購入・管理活動経費など

▶補助金額：上限40万円／団体

②鳥獣被害防止総合対策事業（国事業）

3人以上の農家で協力し、ワイヤーメッシュ柵などを用いた侵入防護柵の一体的な整備と適正な維持管理（草刈りや点検・補修など）を行う地域に対し、柵の資材を提供します。（9割補助）

▶申請要件

- ・3人以上の農家であること
- ・耐用年数（ワイヤーメッシュ柵：14年、電気柵：8年）の期間、農地・柵の維持管理が行えること
- ・現時点で被害が発生している農地で、導入により費用対効果が一定以上見込まれること
- ・今まで補助事業を活用し、柵の整備を行っていない農地または、導入後、耐用年数（ワイヤーメッシュ柵：14年、電気柵：8年）が過ぎており、対応が必要な農地であること

▶注意事項

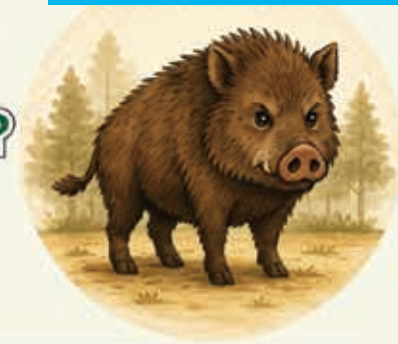
要望数や国からの交付金の配分によって、次年度以降の実施となる場合があります。



有害鳥獣対策シリーズ 第3回（全4回） ワイヤーメッシュ柵は高ければ安心!?

～ 隙間を作らず農地を守る！～

有害鳥獣対策を担当する地域おこし協力隊がお届けします！



餌場にさせない！ 電気柵とは何が違う？

前回紹介した電気柵は、電気ショックによって「触ると危険」と学習させ侵入を防ぐ「心理柵」である一方、ワイヤーメッシュ柵は、イノシシの侵入を物理的に防ぐ「物理柵」です。農地への侵入を防ぐことは、作物を守るだけでなく、イノシシに「ここには食べ物がある」と学習させないことにもつながります。



高さだけじゃない！ 効果を発揮する設置方法

ワイヤーメッシュ柵は、高さ1.2m程度を確保することが目安です。高さだけでなく、設置の仕方でも効果をより高めることができます。

10cm格子を選ぶ！

格子が大きいと、ウリ坊がすり抜けたり、イノシシが頭を入れて押し広げたりすることがあります。

表裏を間違えない！

ワイヤーメッシュ柵は、縦線を外側、横線を農地側にして設置します。横線が外側にあると、イノシシがくわえて引っ張り、壊される原因になります。

隙間をつくらない！

傾斜地などでは地形に合わせて設置し、柵と地面の間に隙間を作らないことが大切です。また、柵同士のつなぎ目を1マス程度重ねて、より強固にする方法もあります。

柵の下側をしっかりと対策！

イノシシは、柵の下から侵入しようとするため、地面との境目をしっかりと固定することがポイントです。また、嗅覚だけでなく視覚でも周囲を確認するため、トタンなどで目隠しをして農作物を見えにくくすることでも有効です。

💡 高さだけでなく「地面との隙間や柵のつなぎ目」をふさぐことが大きなポイントです！



さらに効果を高めよう！ 設置場所に合わせたひと工夫！

地形や設置場所に合わせた工夫を加えることで、より侵入されにくい防護柵にすることができます。

柵の下側をさらに補強！

地面に凹凸や傾斜がある場所では、柵の下側に隙間ができやすいため、基本の設置に加えてさらに補強する方法があります。アンカーで地面にしっかり固定したり、竹やパイプを柵の下側に沿わせて持ち上がりにくくしたり、スカート状の網を地面に沿って設置して下側からの侵入を防いだりするなど、地面の状態に合わせた工夫ができます。

場所に合わせて電気柵と使い分け！

舗装道路沿いなど、電気柵では十分な効果を得にくい場所では、ワイヤーメッシュ柵を選ぶなど、周辺環境に合わせて使い分ける方法があります。また、設置場所や状況に応じて、それぞれの特徴を生かした対策を取り入れることもできます。



ワイヤーメッシュ柵をより効果的に！

今回は「捕獲は「罠を置けばOK」じゃない!？」をご紹介します。

問 農林振興課 林務耕地係 ☎0968・34・3111